

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 Scienccees Po Lyon リヨン政治学院
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 9月 1日 ～ 2018年 5月 25日 出国日 2017年 8月 27日 最終帰国日 2018年 7月 20日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初に比べ、価値観の違う人を受け入れる姿勢や、社会問題に当事者意識を持つ姿勢は身についたかと思っています。留学を通して、外国でひとりでどうにかなったという自信のようなものも付きました。

（2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力です。詳しくは後で書きますが、特に語彙は大事です。

2. 留学先大学について

（1）留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

フランスは民主主義の本場かつ学校が「政治学院」だったので政治系の授業も履修しましたが、日本のように政治のシステムや機能を教えてくれるのではなく、なぜ民主主義が確立されたのか、どうして政治をするのかのような政治哲学系の授業が多かったです。テストもほぼすべてが論述式で、授業で習った内容を踏まえて、あなただったらどうするか答えなさい、というような形式でした。

リヨン政治学院は全学生が留学必須で3年生は全員留学しており、私たち留学生は本国での学年に関わらず全員が3年生という扱いになります。一学年分留学生がいることもあり、教授もセンターの方も親切でした。教科によっては留学生はテスト免除でレポート評価にしてくれたり、辞書の持ち込みを認めてくれたりします。

私は履修しませんでしたでしたがフランス語を話せない学生のためのコースもありました。専門

科目の講義は英語で行い、レベル別のフランス語レッスンもあるそうです。半期のみのプログラムなので後期は通常コースで履修することになります。通常コースはフランス語と英語の授業が2対1くらいの割合であります。私は大体フランス語で履修しましたが、ゲストスピーカーの短期講座はかなりの確率で英語でした。私のときは学習院の政治学科の先生がゲストでいらしていました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

メインの校舎はナチスドイツがフランスに攻めた時にゲシュタポが本部として使用した建物だそうです。その名残か建物内に戦争博物館みたいなのがありました。普段授業で使うのは比較的最近できたと思われる建物です。特別きれいではありませんが特別汚くもなく普通です。国際センターもこの建物内にあります。生徒賞をかざすと無料で使えるコピー機やパソコンもあります。図書館も敷地内にありますがかなり小さいです。

政治学院は学校の規模が小さいため学生証の発行などの事務手続きやスポーツの授業は徒歩3分くらいのところにある Lyon2 で行っています。テニスや水泳はトラムで1時間くらいのキャンパスでやっているなので気を付けてください。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

授業開始前の留学生向け pré-module で2週間40時間ほどフランス語の授業があった他、(2)に記載した留学生コースのフランス語レッスンがあるようです。通常コースを選択するとフランス語の授業がない野で、私は政治学院の留学生が多く通っていた学校の近くの語学学校に通っていました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

pré-module に参加するとガイドさんによるリヨンツアーに参加できるほか、私たちのときはリヨン近郊のアヌシーという湖のある街への遠足のようなイベントがありました。他は自分でFacebook等でLanguage exchangeのイベントを探したり、一般のイベントに参加するような形です。

新学期が始まった頃は学食の隣にサポートセンターがあり、困ったことや地元でのイベントを教えてくださいました。私が行ったときはそこで正規ビザ取得の手続きもしてくれました。ちょうどビザの建物が工事中だった影響もあるかもしれません。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

奨学金はありませんが caf という住宅手当のようなものに登録したら家賃を割引してもらえました。月によってまちまちだったので正確な割引料金はわかりません。Crous に加入している寮ならネットで申請できます。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学の周辺は比較的問題ありませんが夜になると酔っ払いがたむろしています。学校から北に20分くらい行くと移民外で、おそらくリヨンで一番治安が悪いです。友だちが大麻の匂いがすると言っていました。アジア食料品店があり、行かざるを得ないときはよく気を付けていました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

留学生が多いせいか特に差別をされることもなく、アジアに留学していた学生や日本語を習っている学生には好意的に受け入れてもらえました。しかしながら留学生が多いゆえにバディなどのシステムはなく、自力で生きていく力を求められました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Introduction à l'histoire de la Chine et du Japon(3)	
Politique et institutions en Asie orientale(3)	
EU Neighbourhood Politics(3)	
Politics in japan(3)	
Rapports sociaux de sexe pol. trav. rapp. au corps(3)	
Economie japonaise(3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 400€、 (日本円) 約 52000 円

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩、計 15 分弱

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私が行った1年前に完成した寮だったそうで、新しくきれいでした。部屋にトイレシャワーキッチンがすべてありとても便利でした。9階まであり、私は5階だったのですが9階はお湯が出なかったり停電することがたまにあったそうです。

4. 費用について

(1) 学 費

学習院の学費のみ

(2) 渡航方法と金額

飛行機（日本円）約 20 万円

(3) 生活費

（現地通貨）月額 約 800€、（日本円）約 10 万円強

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／現金／

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

TIP ジャパン

(2) 保険料

17 万円

(3) 加入した保険の種類、内容

死亡・傷害・病気 無制限

損害補償（何か壊した時の保障） 5000 万円

(4) 感想、良かった点・悪かった点

一度も使いませんでした。フランス大使館で行われた留学説明会で進めていただいた、フランスに特化した保険だそうで、保険証などもフランス語のものがありました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物

(2) 持って行って良かったと思う物

ファンデーション、菜箸、ヒートテック

ファンデーションは肌に合う色を探すのが大変だと思います。菜箸は自炊するのに必要です。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

服 現地で安く買えます。最低限は必要だと思いますが、留学時は現地で買ったものを着つぶして捨てる方がコスパが良かったと思います。

(4) 持って行けば良かったと思う物

ラップ、歯磨き粉、壁に貼れるフックと洗濯ロープ

フランスのラップは薄くてすぐ破けます。またフランスの歯磨き粉はフッ素があまりはっていないのか、虫歯ができました。アメリカに留学した友だちも同じことを言っていたので外国に行く際は持って行った方がいいかもしれません。洗濯物は部屋に干せる場所が限られているので、フックとロープがあると安心です。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

大体授業が午後からだったので、午前中は昨日の授業の復習をしたり、掃除など家のことをしたり、曜日によってはマルシェに行ったりしていました。午後からは授業に行き、6 時ごろ帰宅する日が多かったです。友達とごはんを食べてくる日もありました。

(2) 週末

土曜日は出かけていることが多かったです。買い物に行ったり、丘に散策しに行ったりしていました。少し足を伸ばしてグルノーブルや、ル・コルビジエの建築を見に行きました。

8. 後輩へのアドバイス等

リオンはほとんど英語が通じませんが、がんばってフランス語を話そうとするとむこうも理解しようとしてくれます。一方で学校ではフランス人学生と知り合いになる機会があまりなく、結局留学生で固まりがちです。そうするとフランス語よりも英語で話すことになるので、英語も大事です。大変だと思いますが日常会話程度は両方できたほうが良いと思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。